

「認知症世界の歩き方」：笈 祐介（かけい ゆうすけ）

見えるはずのないものが見え、聞こえるはずのない音が聞こえる驚きの森【パレイドリアの森】

－認知症のある人の頭の中をのぞいてみたら？－

《森を分け入っていくと目に飛び込んでくるきたのは、人間の顔をした「人面樹」！それだけではありません。突然見たこともない虹のような極彩色の鳥が飛んできたり、無人の森から聞こえるはずのない歌声が流れてきたり、木々の枝が生き物のように動き出す。見えているのは私だけではない…… はず!?》

このように、物の中に人の顔や動物の姿が見えてしまうのは「パレイドリア」と呼びます。

◆ 私にしか見えない何かがある

- ① 『友人とハイキングに出かけた時のこと。森の中に、何匹もの子犬がいるのです。「どうしてこんなところに子犬が?」。そう思い、友人に話しかけてみると「え?どこに」と変な顔をされました。』
- ② 『レストランで壁の模様がどうしても人の顔に見えてしまい、落ち着きませんでした。ずっと気になり、会話に集中できず、どっと疲れてしまっ……』
- ③ 『その日は早めに休もうと寝室の扉を開けたのですが、今度は何と、見知らぬ男の人が私のベッドでじっと寝ているではないですか……!「ギャー!?!」と思わず悲鳴をあげてしまいましたが、次の瞬間、それは寝て起きた時のまま丸まっていた布団の塊に変わっていたのです。』
- ④ 『この間リビングで娘とテレビを見ていたときは、隣の部屋から話し声がはっきりと聞こえてきました。家には、誰もいないはずなのに。』
- ⑤ 『「今日は魚にしようかな」と献立を考えていたら、今度はどこからともなく魚の腐った匂いがしてきました。ほかの人は匂わないのに。』

そんな私は、最近、私にしか見えていないものがあるのだと理解しました。

そして見えたものがあっても、なるべく口に出さないよう気を付けることにしています。

とっさに口にしてしまうと、「この人おかしんじゃないか」という目を向けられてしまうからです。やっぱり、人の目は気になります。

本当は何が見えようと聞こえようと、周りの人が「へえ～そーなんだ～。なにになに?」と、普通のこととして自然に受け止めてくれるようになったら、わたしも楽に生きられるようになるのになあ、と思います。

◆ いらないはずの人や動物が確かに見える理由

- ① 何もないところにありありと現実のものとして人、動物、虫などが見える幻視は、レビー小体型認知症と言われます。
- ② いらないはずの人や動物が確かに見えるのは、脳の中でも特に、物体、顔、空間、位置、動きの認知に関する部分に障害を受けていることが原因で、これらの認知を幻視によって補おうとしているとも考えられます。
- ③ 個々で理解しておきたいことは、人が本当にいるかのように振る舞ったり、突然現れた虫に驚いて叫んだりするのは、異常な行動ではなく正常な反応だ、ということです。本人には、実際に見えているのですから。
- ④ なお、レビー小体型認知症でなくても、薬の副作用などで「せん妄」（一時的な脳機能の低下）を起こしたときに幻視が現れるときがあります。しかし「せん妄状態の時の記憶はない」と言われております。

◆ この障害が原因と考えられる生活の困りごと

- ① あるはずのないものが見える・違うものに見える
 - ・寝室にいないはずの男の人を見る ⇒ ぼんやりではなく顔も形もはっきり見えたので、本物か幻覚かまったく区別がつかない。
 - ・運転中にいないはずの虫を見る ⇒ よく見ても毛が生えていて足が6本あって本物の虫にしか思えない。飛び回るので手で払いのけようとしたら、姿が消えた。
- ② 静止しているものが動いて見える
 - ・醤油が動いて見える ⇒ 小皿に注いだ醤油の黒い丸が動いて見えた。醤油が動くななんてありえあにのに。
 - ・駐車した車が動いたように見える ⇒ 社外に出た途端、車がゆっくり動き出したので「サイドブレーキを引き忘れてた」とあわてて戻ったが、しっかり引かれていた。
- ③ 聞こえるはずのない音が聞こえる
 - ・いないはずの人の声や音・気配を感じる ⇒ だれもいないはずの隣の部屋から人の声が、外からはいるはずのない救急車の音が聞こえる。だれか後ろを通った気がすることも。
- ④ におうはずのない匂いがする
 - ・実際にはしない魚の腐った匂いがする ⇒ 買ったばかりの刺身を皿に盛ったら、腐った匂いがした。夫に確認してもらうと「そんな匂いはしない」と言う。

次回は連載その9「正しい時の流れの感覚を完全に失ってしまう世にも奇妙な竜宮城【トキシラズ宮殿】